プログラム

12月16日(土)

第１会場（会議ホール風）

9:15～9:30　開会式

9:30～10:00　大会長講演

座長：伊藤　壽記（日本統合医療学会代表理事、大阪がん循環器病予防センター理事長）

人生100年時代の健康長寿を考える～こころ・からだ・たべもの・くすり

山田　靜雄（静岡県立大学大学院薬学研究院薬食研究推進センター長）

10:00～10:30　代表理事講演

座長：山田　靜雄（静岡県立大学大学院薬学研究院薬食研究推進センター長）

健康長寿と統合医療 ヒトの進化の過程への一考察～二足歩行がもたらした“光と影”

伊藤　壽記（日本統合医療学会代表理事）

10:40～11:30　特別講演１

座長：賀川　義之（静岡県立大学薬学部教授）

SL-1　安全で健康な長寿社会

尾池　和夫（静岡県公立大学法人理事長、静岡県立大学学長）

13:20～14:10　特別講演２

座長：伊藤　壽記（日本統合医療学会代表理事）

SL-2　ゲノム医療の新展開－統合医療の視点から－

山口　建（静岡がんセンター名誉総長兼理事）

14:30〜16:30	**市民公開講座　司会：木村　緑**（NPO法人「くすり・たべもの・からだの協議会」理事）

座長：仁田　新一（日本統合医療学会名誉理事長）

講演１　「ぴんぴんキラリと自分らしく生きましょう－九十路の実感を通して」

川嶋みどり先生（健和会臨床看護学研究所所長、日本赤十字看護大学名誉教授、日本統合医療学会業務執行理事）

座長：鈴木　美香（聖隷健康サポートセンター*Shizuoka*所長）

講演２　「日本発の統合医療を目指して」－キュアからケアへ、そして健康なまちづくり－

橋本　聖子先生（参議院議員、自由民主党両院議員総会長、自由民主党統合医療推進議員連盟会長）

第２会場（1001-2）

10:10〜11:40	**シンポジウム１「統合医療からみた地域創生と社会モデル ～プラネタリーヘルスの視点をふまえて～」**

座長：山本　竜隆（朝霧高原診療所院長、 昭和大学医学部客員教授）

SY1-1　田舎型統合医療モデル　～富士山麓WELLNESS UNIONのリトリート活動～

山本　竜隆（朝霧高原診療所院長　昭和大学医学部客員教授）

SY1-2　看護師・保健師が運営する環境負荷の少ない農的コミュニティ兼リトリート施設におけるホリスティックヘルスの実践と意義

小川美農里（Dana Village・チャルジョウ西会津農場 代表／日本ホリスティック医学協会 専門会員）

SY1-3　富士山麓における農副連携の統合医療、施設＆社会モデル「土のうえ空のした」馬を活用し、地域とともにあゆむ社会的包摂の場　～だれもがありのままでいられる共生フィールド～

高橋　智（特定非営利活動法人EPO代表）

SY1-4　ヒューマンヘルスからプラネタリーヘルスへ～人と地球の病を治すための量学的視座と社会実装

桐村　里紗（東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻道徳感情数理工学社会連携講座共同研究員 / tenrai株式会社代表取締役・医師）

光吉　俊二（東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻道徳感情数理工学社会連携講座特任准教授）

13:20〜14:00	教育講演１

座長：矢野　忠（明治国際医療大学鍼灸学部客員教授）

EL-1　ファシアが切り開く鍼灸メカニズム

建部　陽嗣（量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所研究員）

14:30〜16:30	市民公開講座（中継）

第３会場（910）

9:40〜11:40	シンポジウム２「災害と統合医療、災害支援に統合医療が利活用されるには何が必要か？」

座長：小野　直哉（日本統合医療学会災害委員会）、坂部　昌明（日本統合医療学会災害委員会）

SY2-1　防災や災害支援の知識やマナー：被災地域の医療現場の視点から

上村　晋一（阿蘇立野病院）

SY2-2　防災や災害支援に係る知識とマナー：災害医療研修の視点から
－災害支援に統合医療が利活用されるには何が必要か？－

小野　直哉（(公財)未来工学研究所、明治国際医療大学）

SY2-3　防災士とロジスティクス（logistics）　日常防災および災害支援の観点から

坂部　昌明（日本統合医療学会災害委員会、特定非営利活動法人ミライディア）

指定発言者：関　隆志、松本　清香、宮森　孝子、佐藤美弥子

13:20〜15:50	シンポジウム３「伝統医学に見る食薬活用の現状」

座長：関　隆志（フジ虎の門整形外科病院　東洋医学総合診療科　高嶺の森の診療所）

SY3-1　アーユルヴェーダ食養生〜ヒーリング効果を高める食事

Dr. パルタップ・チョハン（Jiva Ayurveda創設者／ダイレクター）

SY3-2　中国薬膳の現状

史　麗萍（中国・天津中医薬大学）

SY3-3　食養生と現代医学　ナチュロパシーと酵素栄養学の先進的アプローチ vs マクロヴィオティック療法の限界

鶴見　隆史（医療法人社団森愛会　鶴見クリニック）

16:00～16:30　教育講演４

座長：渡邉　泰雄（横浜薬科大学　総合健康メディカルセンター代表）

EL-4　The use of natural product curmeric during COVID-19 pandemic in Cuba
Tania Valdés -González（University Hospital General Calixto García）

第４会場（904）

9:30～11:40　ワークショップ１

WS-1　「基礎医学検定に関する意見交換会」（認定制度委員会との合同企画）
小池　弘人（小池統合医療クリニック）
板村　論子（ピュシス統合医療クリニック）

13:20～14:50　シンポジウム４「AI、VRと統合医療」

座長：酒谷　薫（東京大学高齢社会総合研究機構　東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻）

SY4-1　AIとDXで何が出来るのか？　――ダンスセラピーによる非侵襲的な乳幼児発達障害検知を目指して――
井上　敦司（九州工業大学）
川中　普晴（三重大学）
﨑山ゆかり（武庫川女子大学）

SY4-2　健診データのAI解析による認知症の早期発見と予防
酒谷　薫（東京大学高齢社会総合研究機構　東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻）
唐子　顕児（東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻）
胡　莉珍（東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻）
大山　勝徳（日本大学工学部情報工学科）

SY4-3　未来を拓くAIとデータ駆動型統合医療　機械学習とビッグデータによる医療情報と生体信号データベースの革新
湯田　恵美（東北大学 大学院情報科学研究科）

15:00～16:30　ワークショップ２

WS-2　「統合医療カンファレンス・食と健康長寿」（認定制度委員会との合同企画）
小池　弘人（小池統合医療クリニック、統合医療学総論構築委員会）
板村　論子（ピュシス統合医療クリニック）

12月17日(日)

第１会場（会議ホール風）

9:00～9:50　特別講演３

座長：吉田　紀子（恩賜財団済生会鹿児島地域包括ケアセンター所長）

SL-3　統合医療と心身医学―身体・心理・社会・環境から観る

久保　千春（中村学園大学学長）

10:00～10:50　特別講演４

座長：福沢　嘉孝（愛知医科大学大学院医学研究科・病院　先制・統合医療包括センター教授・部長）

SL-4　大災害を経験し、変革してきた我が国の災害対応　－防ぎえる災害死回避のための保健医療・福祉への拡大－

大友　康裕（国立病院機構災害医療センター病院長）

11:00～11:50　特別講演５

座長：木苗　直秀（元静岡県立大学長）

SL-5　「適塩和食」で健康寿命は延ばせる－世界の健診からの福音

家森　幸男（武庫川女子大学国際健康開発研究所、（公財）兵庫県健康財産会長、（公財）健康加齢医学振興財団理事長）

13:30:～14:20　特別講演６

座長：竹中　登一（（一社）日本マイクロバイオームコンソーシアム代表理事、元アステラス製薬代表取締役会長）

SL-6　人生100年時代の健康・医療サービス－健康長寿社会の実現に向けて－

江崎　禎英（社会政策課題研究所　所長）

15:30～16:10　教育講演３

座長：福田　克彦（福田内科クリニック副院長）

EL-3　The Science of Fractal Analysis on Mind and Body in Diabetes and Beyond

Dr. Jibin Chi（Founder, CHI Awakening Academy, President, Channel Biomedical Group）

第２会場（1001-2）

9:00～10:40　シンポジウム５「慢性疾患と統合医療 ～ポリファーマシーへの対応～」

座長：板村　論子（ピュシス統合医療クリニック）

SY5-1　高齢者におけるポリファーマシーの課題と対応

鶴岡　浩樹（日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科、つるかめ診療所）

SY5-2　高齢者医療におけるポリファーマシー、漢方薬の活用

高山　真（東北大学病院　総合地域医療教育支援部（総合診療科・漢方内科）　東北大学大学院医学系研究科　漢方・統合医療学共同研究講座）

SY5-3　精神科領域におけるポリファーマシーへの対応：３段階の回復過程の指標を用いたホメオパシーによる統合医療

板村　論子（ピュシス統合医療クリニック、一般社団法人日本メディカルホメオパシー学会）

11:00～11:40　教育講演２

座長：渡邉　順子（静岡県立大学副学長、看護学研究科特任教授）

EL-2　高齢期の薬物療法の注意点

梅垣　宏行（名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学）

13:20～14:50　シンポジウム７「統合医療と看護と自然治癒力」

座長：茂野香おる先生（淑徳大学看護栄養学部教授）、大宮　裕子先生（目白大学看護学部教授）

SY7-1　アロマセラピーが患者にもたらすものはなにか

相原　由花（ホリスティックケアプロフェショナルスクール）

SY7-2　食事におけるポジショニングと自然治癒力

迫田　綾子（日本赤十字広島看護大学名誉教授）

SY7-3　気持ちよく出す排泄ケアと自然治癒力

榊原　千秋（うんこ文化センターおまかせうんチッチ）

15:00～16:30　シンポジウム９「スピリチュアリティと統合医療」

座長：鈴木　清志（MOA健康科学センター理事長）

SY9-1　統合医療におけるスピリチュアリティの役割

酒谷　薫（東京大学高齢社会総合研究機構　東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻）

SY9-2　統合医療のなかにおけるスピリチュアリティの意義

加藤　眞三（慶應義塾大学名誉教授、MOA高輪クリニック）

SY9-3　精神医療におけるスピリチュアリティ（禅と仏教の見地から）

川野　泰周（RESM新横浜 睡眠・呼吸メディカルケアクリニック）

第３会場（910）

9:40～11:40　シンポジウム６「統合医療学総論の構築」

座長：小池　弘人（統合医療学総論構築委員会）

SY6-1　「証拠に基づく統合医療」の哲学と倫理

伊勢田哲治（京都大学大学院文学研究科）

SY6-2　日本の相補（補完）代替医療及び統合医療の変遷－日本の統合医療は何処から来て、どの様なもので、何処へ行くのか－

小野　直哉（(公財)未来工学研究所、明治国際医療大学）

SY6-3　統合医療学総論の構築

小池　弘人（統合医療学総論構築委員会）

13:20～14:50　シンポジウム８「機能性食品と疾患」

座長：森本　達也（静岡県立大学薬学部分子病態学分野教授）、禹　済泰（中部大学応用生物学部教授）

SY8-1　がん予防のための機能性食品と統合医療

井手　久満（順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科デジタルセラピューティクス講座）

SY8-2　血管疾患発症の温床となる血管の変性とそれを予防しうる食品成分・かおり成分

財満　信宏（近畿大学農学部　アグリ技術革新研究所）

SY8-3　機能性食品（抗酸化食品）：自分たちが目指すところ

仲川　清隆（東北大学 大学院農学研究科）

SY8-4　クルクミンの展開医療研究

森本　達也、砂川　陽一、刀坂　泰史、浜辺　俊秀、長谷川浩二

（静岡県立大学薬学部分子病態学分野　国立病院機構京都医療センター展開医療研究部　静岡県立総合病院循環器内科）

15:00～16:30　シンポジウム10「「命の誕生から旅立ちまで」の視点から「地域包括ケア」を考える」

座長：岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科教授）、富安　眞理（静岡県立大学看護部教授）

SY10-1　多職種で取り組むセルフケアのための統合医療

岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科）

SY10-2　温泉を活用した健康づくり～温泉のまち伊豆の国市の産後ケア事業を通して～

山下　祐美（一般社団法人　食育スタジオDreamy代表理事）

SY10-3　災害時にも生かせるセルフケアの普及について

中野　貴子（伊豆の国市長岡地域包括支援センター）

SY10-4　地域の病院における緩和ケア

石井亜季子（公益財団法人 伊豆保健医療センター）

SY10-5　日々の暮らしと連続した旅立ち～在宅看取りの現場から～

長谷島さや（公益財団法人 伊豆保健医療センター）

第４会場（904）

9:40～11:40　ワークショップ３「医師向けの鍼治療講座」

WS-3　北辰会方式の鍼灸治療の実際と、医師－鍼灸師の連携について

竹下　有（清明院　院長、北辰会学術副部長）

13:20～14:50　ワークショップ４「身体活動で人を元気にする」

座長：望月　美春（有限会社コムネット代表取締役）

WS4-1　地域で身体活動を促進する試み

久保田晃生（東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科）

WS4-2　中高年者を対象としたSUPと介護護施設で行うオリジナル体操の効果

井口　睦仁（常葉大学 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科）

WS4-3　身体活動で人を元気にする～ゴルフのスポーツ寿命延伸とQOL維持を目的とした運動連鎖を使った捻転力の向上～

望月　美春（有限会社コムネット代表取締役）

白井みち代（静岡県立大学大学院・薬食研究推進センター）

15:00～16:30　ワークショップ５「要支援、要介護者の命とQOLを守る口腔ケア」

座長：米山　武義（米山歯科クリニック院長）

WS5-1　口腔ケアの重要性を多職種で共有する

米山　武義（米山歯科クリニック）

WA5-2　満足した人生を送るための口作りを目指して

今泉　克美（歯科衛生士）

WA5-3　管理栄養士が口腔ケアにどう関わるべきか　－管理栄養士に求められる役割－

杉山　清子（日本大学短期大学部食物栄養学科、管理栄養士）

ランチョンセミナー

12月16日(土)

第１会場（会議ホール風）

12:00～13:00　ランチョンセミナー１　㈱絆ジャパン

LS-1　健康長寿には住環境の見直しが必要です

座　長：日下部隆久（㈱絆ジャパン　住医学研究会事務局長）

講演者：星　旦二（東京都立大学・名誉教授）、日下部隆久（住医学研究会事務局長）

池田　豊（大井建設株式会社、代表取締役）

第２会場（1001-2）

12:00～13:00　ランチョンセミナー２　㈱テクノスルガ・ラボ

LS-2　短命県返上活動とビッグデータ活用

座　長：望月　淳（㈱テクノスルガ・ラボ　代表取締役社長）

講演者：中路　重之（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授、弘前大学学長特別補佐）

第３会場（910）

12:00～13:00　ランチョンセミナー３　セイリン㈱

LS-3　サウナは『単なる熱い箱』ではない　～地方創生から統合医療としてのサウナ～

座　長：山本　竜隆（朝霧高原診療所院長、昭和大学医学部客員教授）

講演者：笹野美紀恵（ONEBLOW代表／サウナトータルプロデューサー）

第４会場（904）

12:00～13:00　ランチョンセミナー４　東栄新薬㈱

LS-4　なぜ、薬用キノコのアガリクスが【ガン統合医療】に利用されているのか？
～露地栽培アガリクスKA21株の免疫増強・抗がん剤の副作用軽減効果～

座　長：渡邉　泰雄（横浜薬科大学　総合健康メディカルセンター代表）

講演者：元井　章智（東栄新薬㈱代表取締役社長）

12月17日(日)

第１会場（会議ホール風）

12:10～13:10　ランチョンセミナー５　セリスタ㈱

LS-5　CHI Fractal Bioanalysis on Mind and Body in Integrative Medicine

座　長：福田　克彦（福田内科クリニック副院長）

講演者：Dr. Jibin Chi（Founder, CHI Awakening Academy, President, Channel Biomedical Group）

第２会場（1001-2）

12:00～13:00　ランチョンセミナー６　㈱シニアライフクリエイト

LS-6　医療・介護における心と食のケアー幸せな老いを生きるためにー

座　長：米山　武義（米山歯科クリニック院長）

講演者：石垣　靖子（北海道医療大学　名誉教授）

第３会場（910）

12:00～13:00　ランチョンセミナー７　㈱アミノアップ

LS-7　シソエキスが有する心保護効果

座　長：塩　拓磨（株式会社　アミノアップ学術担当）

講演者：砂川　陽一（静岡県立大学薬学部　分子病態学分野、国立病院機構京都医療センター展開医療研究部、静岡県立総合病院）

第４会場（904）

12:00～13:00　ランチョンセミナー８　㈱SOPHIA

LS-8　人体の巧妙な仕組みをサポートするポストバイオティクスー腸内細菌と共に一緒となって、初めて一つの生命体

座　長：福沢　嘉孝（愛知医科大学大学院医学研究科・病院　先制・統合医療包括センター教授・部長）

講演者：齋藤　善信（㈱SOPHIA 代表取締役）

ポスター発表１　１日目　14:30～　会場：展望ホール

座長：蒲原　聖可（神奈川歯科大学大学院統合医療講座）

P-01　妊娠期クロレラ投与による炎症、腸内環境への影響
内山　葉子（葉子クリニック）

P-02　クルクミンの類似体化合物Aは膠芽腫に対してクルクミンよりも低濃度で抗腫瘍作用を示した
伊藤　亮（静岡県立大学薬学部分子病態学分野）

P-03　Curcumin誘導体Compound BはCurcuminと比べ低濃度で膠芽腫の細胞増殖を抑制し、細胞死を誘導した
稲井　恭子（静岡県立大学大学院　薬食生命科学総合学府　薬科学専攻　分子病態学講座）

P-04　ヒスチジン含有ジペプチドのアンセリンはp300-HAT活性を阻害することにより、心筋細胞肥大および圧負荷モデルマウスの心収縮能低下を抑制した
色川　雄大（静岡県立大学　薬学部　分子病態学分野）

P-05　ハナショウガ成分ゼルンボンの肺線維化に対する抗線維化作用の解析
羽川　菜摘（静岡県立大学薬学部分子病態学教室）

P-06　シスプラチン誘発による筋委縮モデルマウスを用いた経時的な筋力測定系の確立
真壁　大地（LSIM安全科学研究所）

P-07　不定愁訴に対して栄養療法とファシアリリースによる統合的アプローチが奏功した２症例
村西　寛実（京都御池メディカルクリニック）

P-08　日本・中国・欧米食・地中海食地域の更年期の女性におけるイソフラボン摂取量の違いによる健康障害への影響と栄養因子に関する疫学検証
工藤　麻耶（武庫川女子大学）

ポスター発表２　１日目　14:30～　会場：展望ホール

座長：砂川　陽一（静岡県立大学　薬学部）

P-09　岡田式食事法に基づく糖質制限食により血糖コントロール指標が顕著に改善した２型糖尿病の一例
豊田　益代（一般社団法人 MOAインターナショナル）

P-10　エゾウコギ、クロレラ、ノビレチンによるTie-2活性化効果の検討
跡部　一孝（徳島文理大学　香川薬学部）

P-11　筋毛細血管退行に対する酵母由来RNAの経口摂取の予防効果
林　浩（神戸大学）

P-12　迅速・同時休眠打破処理した巨峰ブドウ種子、生姜根茎およびジャンボリーキ鱗片乾燥末による抗がん・免疫賦活、肝臓賦活・脂肪低下および肥満・糖尿病予防・解毒・酸化ストレス消去効果の亢進

小名　俊博（九州大学　大学院　農学研究院）

P-13　露地栽培アガリクスKA21株の摂取によるストレス性認知機能低下に対する効果の検討

多田　敬典（至学館大学）

P-14　露地栽培アガリクスKA21株の抗がん剤の副作用軽減効果

元井　章智（東栄新薬株式会社）

P-15　露地栽培アガリクスKA21株の肺アスペルギルス症、腸・膣カンジダ症に対する予防効果

北原　淳子（東栄新薬株式会社）

ポスター発表３　１日目　14:30～　会場：展望ホール

座長：米澤　貴之（中部大学　生物機能開発研究所）

P-16　紅茶成分テアフラビンは口腔内歯周病原因細菌*Prevotella intermedia*の増加を抑制する

鳴田　竜也（静岡県立大学）

P-17　ブラジル産グリーンプロポリス由来成分の抗糖尿病作用

米澤　貴之（中部大学　生物機能開発研究所）

P-18　「そば×発芽×発酵」が難病の間質性膀胱炎患者のＱＯＬ向上の一助となるか

前島　靖勲（株式会社不二工芸製作所）

P-19　天然物サンショウの抽出物であるCompound Xは心筋細胞肥大を抑制した

髙橋　寧音（静岡県立大学）

P-20　クロロゲン酸摂取と間欠荷重の併用が廃用性筋萎縮による筋萎縮と毛細血管退行に対する抑制効果

木村　啓（神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻リハビリテーション科学領域藤野研究室）

P-21　漢方薬・生薬が身体及び各臓器に与える影響のO-ringTestによる評価

山口　芳香（自然医科学研究所）

P-22　卵巣癌術後のホットフラッシュにホメオパシーが有効であった１例

片山　進（神宮の森レディースクリニック）

P-23　関節リウマチの疼痛をホメオパシーでコントロールできた症例

内山　葉子（葉子クリニック）

ポスター発表４　１日目　14:30～　会場：展望ホール

座長：上村　晋一（医療法人社団順幸会　阿蘇立野病院）

P-24　健康維持のための長期大量自家血液オゾン療法の安全性
中室　克彦（摂南大学名誉教授）

P-25　低圧低酸素環境に対する生体反応に及ぼす アンギオテンシンⅠ転換酵素遺伝子多型の影響
牛尾　優人（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション領域）

P-26　注腸オゾン療法（RI）によって腹水が消失した、肝細胞癌を合併した非代償性肝硬変の一例
上村　晋一（阿蘇立野病院）

P-27　オゾン療法を用いた犬の悪性腫瘍に対する統合医療的アプローチ
清水　無空（アカシア動物病院）

P-28　予防医療としてのオゾン療法 ～理論と実際～
松村　浩道（鎌倉元氣クリニック）

P-29　簡易的な半没入型VRを用いたクリニック外来待合室での癒しについて
柴　維彦（医療法人財団玉川会　エムオーエー名古屋クリニック）

P-30　金属ナノクラスター担持酸化物半導体塗布クロス壁紙による免疫活性化、電磁波低下および悪臭分解効果
小名　俊博（九州大学　大学院　農学研究院）

P-31　概日リズム睡眠障害指標としての基底心拍数出現時刻
湯田　恵美（東北大学 大学院情報科学研究科）

P-32　心拍数周期性変動による小児睡眠時無呼吸症候群の検出
湯田　恵美（東北大学 大学院情報科学研究科）

ポスター発表５　１日目　14:30～　会場：展望ホール

座長：福田　克彦（統合医療センター福田内科クリニック）

P-33　転写因子GATA4の多量体形成阻害はフェニレフリン刺激による心筋細胞肥大を抑制した
須藤　優（静岡県立大学薬学部分子病態学分野）

P-34　High throughput screening assayにより同定したRFN-409は圧負荷による心肥大と左室収縮能低下を抑制した
前田　莉沙（静岡県立大学薬学部）

P-35　心臓特異的p300-BP1ノックアウトは圧負荷による心筋肥大及び心不全の進展を軽減させた

鈴木　悠斗（静岡県立大学薬学部分子病態学分野）

P-36　圧負荷心不全モデルマウスにおいて心収縮機能悪化をBRG1阻害剤PFI-3は抑制した

眞鍋　智弘（静岡県立大学薬学部分子病態学分野）

P-37　COVID-19ワクチン後遺症（mRNA PVS）における各種治療の効果検討

福田　克彦（統合医療センター福田内科クリニック）

P-38　血中循環癌細胞を指標とした統合的な癌再発予防アプローチ－自験例を通して－

村西　寛実（京都御池メディカルクリニック）

ポスター発表６　２日目　10:00～　会場：展望ホール

座長：鈴木　清志（一般財団法人　MOA健康科学センター）

P-39　心身のストレス状態およびライフスタイルの総合評価システムの開発

内田　誠也（一般財団法人MOA健康科学センター）

P-40　岡田式浄化療法（生体エネルギー療法）が全人的ケアに役立った一事例

富嶋　謙之（一財 MOA健康科学センター）

P-41　コロナ禍におけるリモート・サポート・ミーティング（RSM）の取り組み

片村　宏（エムオーエー新高輪クリニック）

P-42　統合医療施設における「相談シート」を活用した地域コミュニティとの連携の取り組み

有馬佐和子（MOA新高輪クリニック）

P-43　多職種連携によるセラピストの可能性の質的研究

川浪さくら（JIMC日本統合医療センター）

P-44　統合医療における多職種連携の効果とクライアントの動機：12名のクライアントへの調査

渡辺　晋仁（IMCI統合医療カンファレンス協会）

P-45　ニューロフィードバックにより改善したうつ病患者の一症例

巽　雅彦（横浜心療クリニック）

ポスター発表７　２日目　10:00～　会場：1002会議室

座長：相原　由花（ホリスティックケアプロフェッショナルスクール）

P-46　更年期症状を持つ患者への補完代替医療を用いた看護の展望－国内文献レビュー－
今城　仁美（吉備国際大学）

P-47　看護職者によるヘルスコミュニケーションを活かした家族支援の検討
和辻　雄仁（京都府山城北保健所）

P-48　静岡県の地域医療推進に寄与する看護人材育成を目指す特定行為研修の取り組み
冨安　眞理（静岡県立大学看護学部）

P-49　患者・家族が行える便秘改善方法の検討－文献調査研究－
山本　祐子（大阪信愛学院大学）

P-50　がんサバイバーと家族のための「がんサロン」の実践報告
小濱　優子（東京純心大学）

P-51　行動変容の科学の視点から考える家族のウェルビーイング実現に向けた家族支援
和辻　雄仁（京都府山城北保健所）

ポスター発表８　２日目　10:00～　会場：1002会議室

座長：山下　仁（森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科）

P-52　骨盤に対するカイロプラクティックが諸症状の緩和に役立つのかを検証する。
吉野　俊司（カイロプラクティックセンター広島）

P-53　カイロプラクティックで人工股関節への手術を回避できた一症例
長尾　正博（阿南カイロプラクティックセンター）

P-54　カイロプラクティックによってメニエール症候群のめまいの改善を認めた症例
長尾　正博（阿南カイロプラクティックセンター）

P-55　子宮筋腫に対する内視鏡手術後の疼痛管理にカイロプラクティックが一助となった１症例
松本　吉正（aikane）

P-56　COVID-19後遺症の喘息症状にカイロプラクティックが有効だった一症例
吉野　俊司（カイロプラクティックセンター広島）

P-57　「器質的に異常なし」と診断されたバイク事故の後遺症がカイロプラクティックで緩和された一症例
山崎　善秀（カイロプラクティック三豊中央院）

P-58　カイロプラクティックの効果が簡単な運動指導で継続した一症例
山崎　善秀（カイロプラクティック三豊中央院）

ポスター発表９　２日目　10:00～　会場：1002会議室

座長：鶴　浩幸（明治国際医療大学鍼灸学部／附属国際交流推進センター）

P-59　耳鳴軽減に鍼医学的体性感覚刺激や耳鳴反応点を用いる治療法確立のための基礎的研究
鶴　浩幸（明治国際医療大学　鍼灸学部）

P-60　オピオイド誘発性便秘症に対する鍼灸治療の１症例
神田かなえ（香川大学医学部公衆衛生学）

P-61　肩の筋硬度計を用いたヨーガの効果
片瀬　愛（一般社団法人 MOAインターナショナル）

P-62　「温泉・運動・食」介入プログラムによるゴルフアスリートの打球飛距離及び主観的健康感の効果
白井みち代（静岡県立大学大学院薬食研究推進センター）

P-63　バイオインフォマティクス解析に基づく脊髄損傷および筋萎縮の分子機構とバイオマーカー探索の可能性
耿　明皓（神戸大学保健学科）

P-64　簡易型家庭用干渉波治療器の新規開発と臨床応用に関する有用性について
辻田　純三（兵庫医科大学）

ポスター発表10　２日目　10:00～　会場：1002会議室

座長：北西　剛（きたにし耳鼻咽喉科・アーユルヴェーダ学会）

P-65　アーユルヴェーダのコロナ禍における貢献と最近の動向－インド現地調査報告－
時信亜希子（岡山大学病院）

P-66　アーユルヴェーダの頭部油滴療法「シロダーラ」のセミセルフでの施術方法
田畑優美子（一般社団法人　日本統合医療学会）

P-67　嗜好性の高い精油によるカグササイズ®が自律神経活動の日内変動に及ぼす影響
上妻　尚子（九州看護福祉大学）

P-68　韓国『治癒の森』で行われた森林治癒プログラムの活動内容分析
リ　ミンヨン（Seoul Cyber University, Future Multidisciplinary Studies (Holistic Integrative Healing Studies)）

P-69　小児脊椎損傷児１例に対する音楽療法の報告
福田　ゆみ（医療法人清博会　野瀬歯科・統合医療研究所）

P-70　ナムブドゥリパッドアレルギー除去療法（NAET®）を用いてQOLの改善を認めた症例
斉藤友美恵（NAET JAPAN）